広報 向日町

発行所
向日町役場
京都府乙訓郡向日町
大字向日小字南山3
電話京都(92)3111～5
編集・向日町役場総務課

新年度予算2億4千万円

町づくり推進へ

都市計画などに重点

昭和三十八年度当初予算二億四千四百万円（一般会計一億一千八百万円特別会計一億二千六百万円）が、三月定例町議会で決まりました。町づくりをねらいとして編成され、都市計画、第二小学校建設、上水道拡張住民健康管理などを内容とする予算の使いみちは……。

【議会費】町議会議員の報酬二百六十万円、事務局職員の給与と事務費、議長会などの負担金三十七万円が計上されている。前年度に比べ百七万円の増額。

【役場費】職員の給与費は二千三百三十四万円と役場費の六十七パーセントをしめている。このほか一般行政事務費や事務用機械器具五十三万円（机や椅子、バイク3台、大型カメラなど）本紙の発行費六回分十六万円がある。各種団体への補助金は、給与者団体へ五十万円を計上している。前年度に比べ七百六十二万円の増額。

【公債費】小学校校舎や町営住宅などの建設費にあてた借入金の利子と償還元金三百二十九万円。前年度に比べ十六万円の増額。

【財産費】町基本財産の積立金八十一万円、庁舎改築積立金百三十六万円（累計三百四十二万円）町有建物（庁舎、校舎）の火災保険料と自動車の損害賠償保険料を合わせて二十六万円を計上。前年度に比べ百二十八万円の増額。

【統計調査費】工業、事業所、住宅統計調査の調査事務費十五万円前年度に比べ三万円の増額。

結核・小児マヒなど 伝染病予防に重点

【保健衛生費】伝染病予防接種費百九万円は実費徴収金を予算に入れたため八十九万円の増。結核予防に二十九万円、伝染病予防は十三万円。小児マヒ予防のワクチンなど三十万円と前年なみ。ゴミの処理、し尿処理、大掃除用薬剤などの清掃関係に四百六十九万円を計上して、例年どおりの作業を行なう。組合立乙訓病院（伝染病）の負担金四十万円。前年度に比べ百六十一万円の増額。

【産業経済費】▽農業費―三百二十五万円は農業委員会の委員報酬（四十万円）や運営事務費、西ケ丘農業開発道路建設費の借入金償還など。▽経済費―商工振興（商工連合会補助金四十五万円）や観光対策などの費用五十七万円が計上されている。前年度に比べ四十五万円の増額。

【諸支出金】▽徴税費は二百六十九万円で、税務事務費や固定資産評価替え事務に六十三万円、令書台帳などの印刷費二十七万円、納税組合への補助金五十五万円を計上。▽戸籍事務費二十五万円は、戸籍、住民登録の事務費や火葬場建設用地買収会計へ七百万円を繰り出す。前年度に比べ二百七十三万円の増額。

一億円の税収入 総額の85%をしめる

予算規模が大幅にふくれたのは町税増収分を前年度よりの三千万円多い一億百二十万円を見込んだこと。総額の八十五パーセントをしめる町税の住民負担は、町民税（現年度個人分）一人当たり二千六百円（前年度二千四百円）固定資産税（同）一世帯当たり四千七百円（同四千五百円）となる。

町税のうちには、軽自動車税百十五万円、電気ガス税七百七十五万円、町内たばこ店の販売額の百分の十二が、たばこ消費税としてくる分を七百六十万円見込んでいる。

特定財源では、国と府の支出金五百六十万円、寄付金（競輪場関係、長岡町委託児童、その他指定寄付金など）百八十九万円。このほか、使用料、手数料、分担金、負担金、繰越金などで歳出をまかなう。

× × ×

町民税所得割の税率が、前年度に比べ、平均六パーセント引き下げられたが、住民の所得が増加したので、前記のような税額になる。

向陽校に九百万円を 社会教育活動を強化

【教育費】▽教育委員会費―教育委員の報酬十万円、教育長と社会教育指導主事の給与百四十九万円、一般事務費や備品など百九十万円▽小学校費―向陽小学校に九百五万円を支出する。国勢調査費八十三万円、一般校費に教科書を贈る費用十一万円、他市町村で例年みない修学旅行や遠足費の全額負担四十六万円は例年どおり確保されている。このほか、養護費、栄養士など九名の給与二百六十七万円、就学を促進するため、恵まれない児童に教科書、学用品、給食費の補助に三十九万円が計上▽中学校費―組合立乙訓中学校の負担金六百三万円▽公民館費―前年なみの三百十七万円を計上して、年々受講者の増加する傾向、あみものなどの講座や研修会をつづけるとともに、青少年育成の社会体育振興に六十三万円をつぎこむ。向陽プールの維持管理に四十万円、図書室に十二万円分の図書を購入するなど、社会教育に力をそそぐ。前年度に比べ百六十万円の増額。

【選挙費】選挙管理委員会の運営事務費、投票所用備品など百三万円、公明選挙PR費三万円は例年なみ。四月の統一選挙（府会議員、町長）と八月に行なわれる町議会議員選挙、農業委員選挙の費用を合わせて百二十一万円が計上されている。前年度に比べ七十五万円の増額。

町立保育所 準備始まる

【社会・労働施設費】民生委員十一名の報酬十七万円や活動事務費、国保法外授産補助金三十万円、保育所への幼児委託料や補助金など二百二十二万円、数年前より計画のあった町立保育所の建設準備事務費十八万円、町営住宅四十五戸の管理費六万円。社会福祉の対策に八十五万円を計上し、少年補導や戦没者の慰霊祭、社協、身障、遺族会などの補助金に使われる。児童公園十二ケ所の維持管理費九万円。国民年金関係の事務費八十一万円。労働対策費九十八万円は土木関係などに職安就労者を雇用する臨時人夫賃五十七万円、同者の交通費補助金など三十五万円を計上している。

河川改良に五百万円 千二百メートルの舗装

【土木費】▽道路費―作業員三名の給与百三万円、三輪ダンプカーの維持費や町道改修工事に六十五万円、砂利、セメントなどの材料費七十七万円、府道舗装（寺戸マルコー北西方）百五十メートルの工事負担金六十万円 ▽河川費―各河川の部分改修や材料費七十一万円 ▽都市計画費―土木費の七十四パーセントをしめる千百七十万円を計上、町道舗装千二百メートルと道路拡幅工事に五百十三万円、同工事の用地買収費百万円、前年度のつづき石田川の改修第二期工事二百四十五万円、西向日地区未流排水工事百二十万円、阪急東向日町駅西側水路の改修に百十万円をつぎこみ、河川改良をすすめる。前年度に比べ三百七十九万円の増額。

六台目の中型消防車

【消防費】消防団員百九十二名の報酬（年額一部長五千円、副部長三千円、班長二千円、団員千円）三十四万円、消防機動力の強化をはかって六回目の中型消防車を購入百八十万円、上植野へ配車した消防車の作業能率をあげるためソフト吸水管を取の付ける改造費十八万円、油火災に備えて泡霧ゼット六個（各部一個）の購入二十六万円。水利面では、四十立方メートル級貯水そうを二ケ所（寺戸廻成寺前、大極殿住宅）新設、既設水そうの補修工事費を含めて百万円。夜の町を明るくする街路灯三十ケ所の増設（現在三百ケ所）や電灯料、修理費など六十万円を計上している。前年度に比べ四万円の増額。

特別会計予算の解説記事は二面に掲載

昭和38年度一般会計予算

科目	予算額
<歳入>	円
町税	101,208,400
（町民税	45,421,300）
（固定資産税	39,285,900）
（軽自動車税	1,150,200）
（電気ガス税	7,745,000）
（たばこ消費税	7,600,000）
（旧法による税	6,000）
公営企業・財産収入	871,900
分担金・負担金	1,828,800
使用料・手数料	1,562,800
国庫支出金	2,659,300
府支出金	2,942,300
寄付金	1,886,000
繰越金	5,141,000
雑収入	346,800
歳入合計	118,447,300
<歳出>	
議会費	5,064,400
役場費	34,817,200
消防費	6,528,600
土木費	15,750,400
教育費	20,154,100
社会・労働施設費	6,043,400
保健衛生費	6,892,000
産業経済費	3,251,200
財産費	2,545,300
統計調査費	151,500
選挙費	2,270,700
公債費	2,293,900
諸支出金	12,234,600
予備費	450,000
歳出合計	118,447,300

町の人口

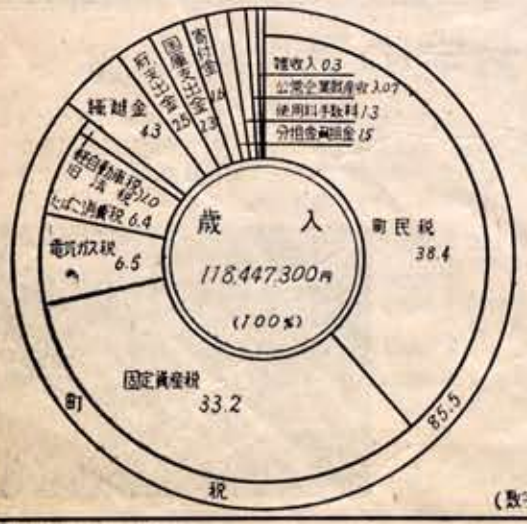
38年3月1日現在

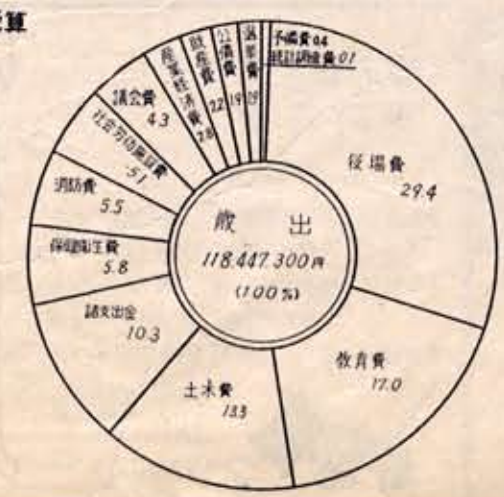
男	7,590人
女	7,596人
計	15,186人
世帯数	3,682

昭和38年度特別会計予算

科目	予算額	構成比
上水道事業		
<歳入>		%
使用料・手数料	21,667,100	67.0
公営企業・財産収入	48,500	0.1
繰越金	5,647,100	17.5
雑収入	4,902,000	15.2
負担金	80,000	0.2
歳入合計	32,344,700	100.0
<歳出>		
上水道費	20,784,200	64.3
財産費	57,500	0.2
公債費	5,956,000	18.4
繰越金	3,847,000	11.9
上水道布設費	1,500,000	4.6
予備費	200,000	0.6
歳出合計	32,344,700	100.0
上水道建設事業		
<歳入>		
繰入金	3,847,000	6.0
町債	60,000,000	94.0
歳入合計	63,847,000	100.0
<歳出>		
上水道布設費	63,247,000	99.1
予備費	600,000	0.9
歳出合計	63,847,000	100.0
第二小学校建設用地買収事業		
<歳入>		
繰入金	7,000,000	80.3
繰越金	1,721,400	19.7
歳入合計	8,721,400	100.0
<歳出>		
教育費	1,700 000	19.5
公債費	6,721,400	77.1
予備費	300,000	3.4
歳出合計	8,721,400	100.0
国民健康保険事業		
<歳入>		
国民健康保険税	9,892,000	46.6
財産収入	4,000	—
使用料・手数料	1,000	—
国庫支出金	8,289,000	39.1
府支出金	1,000	—
繰入金	1,500,000	7.1
繰越金	1,500,000	7.1
雑収入	12,000	0.1
歳入合計	21,199,000	100.0
<歳出>		
役場費	1,836,000	8.7
保険給付費	17,520,000	82.7
保健施設費	702,000	3.3
諸支出金	291,000	1.4
予備費	850,000	3.4
歳出合計	21,199,000	100.0

昭和38年度一般会計予算





(数字はパーセント)